

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童支援 ゆめのほな		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもや保護者とのコミュニケーションが取れており、日ごろから悩みを聞き、それを活動に取り入れることで、支援に繋げることができている	・活動中、子どもの意見を取り入れ予定していた活動を変更して願いに沿ったものになっている。 ・保護者とは降園時に日ごろの様子や最近の困りごとなどを聞いたり、保護者が話しやすい職員に話ができるようにしている。また、園内での支援に生かせることがないか、職員間で検討し実践に取り入れている。	・日々の保護者とのかかわりを大事にし、事業所の対応に問題があった場合は、職員間で状況を把握し、速やかに対応ができるよう、支援に繋げていくことができるようにする
2	・様々な体験や家ではできない経験ができると信頼をいただいている。	・実践プログラムが固定化しないように、子どもの意見を取り入れつつ、職員間の意見も取り入れ、毎月の活動内容に偏りがないように調整している。	・今までコロナで活動を制限していた部分もあったが、公共の機関を利用したり、他園と合同での活動を行うことでさらに活動の幅を広げ、質の向上のために研修を行うなどしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の各種マニュアルの作成を行い、事業所内での研修は行っているが、保護者へ伝わっていないところがある。	・保護者への細かい説明を行う機会が少なく、マニュアルの簡単なものを玄関に掲示だけで終わらせてしまっていた。	・事業所としてマニュアルに基づいた内容や過去の事例を振り返りながら、連携対応等を職員間定期的に行っていく。 ・保護者への周知説明に関しても、書類の提示とともに状況に応じて行っていきたい。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流の機会が少ない	・地域の公園での活動を取り入れて、地域の子どもとのかかわりを持つようにはしているが、児童クラブや児童館との交流と考えると意図的に計画をして行っていないため、保護者からも交流の機会が少ないとの意見になってしまった。	・地域の子どもの交流だけを考えると公園でのかかわりや公共の場でのかかわりとしても行うことはできるため、今後は職員間で検討し、児童クラブや児童館と限定した形ではなく、地域社会とのかかわりを定期的に行ってきたい
3	・非常災害時に対する避難訓練を行っているが、そのことが保護者へ伝わっていないところがある。	・年に2回の訓練と室内には常時避難経路などの提示を子どもにもわかりやすく伝えているが、回数が少ないこともあり、保護者には伝わっていない部分もあった。	・年に2回だけの訓練だけではなく、活動の中でも何度か避難経路の確認を行い、日ごろからいつ災害が起きてもいいように職員間で検討し、その内容を子どもだけでなく保護者にも予定等細かく説明していきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 学童支援 ゆめのはな

公表日 2025年2月28日

利用児童数 20

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			・子どもたちがのびのび遊べるスペースがある	・室内の整理整頓に心がけ、子どもが遊べるスペースの確保を行い、静の活動として個室など状況に応じて子どもが自由に過ごせる場所の提供を行いません
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	1			・法人内の他事業所とも連携を図り、配置基準以上の実践体制の確保に努めます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3				・建物自体は古いですが、個室で分けたり、マットを敷いて落ち着いて過ごせる環境を整えています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1		・いつもきれいに整って整理整頓がされていると思います。子どもの過ごしやすい空間だと思います。	・毎日の活動後の掃除の徹底を今後も行い、子どもが心地よく過ごせる環境づくりを行います ・保護者のニーズに適したものになるよう意見を聞き環境を整えていきます
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	1		・よく理解してくださり、適切な支援がされていると思います。 ・子どもの特性を共通理解し、支援をしていただいている。	・子どもの特性に応じた支援ができるように今後も職員間で子どもの理解の向上に努めています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	1			・実践プログラムの公表を保護者への共有を行い日々の実践のねらいや意図について口頭で保護者への細かい説明を行います
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1	1			・子どもと保護者双方のニーズや課題に沿った個別支援計画作成を努めます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	1			・家庭状況や地域の状況などに応じた支援内容を職員間で検討し、具体的な支援内容に設定できるよう努めます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2				・職員間でも意見交換を行うことで子どもの状態にあった支援を共有できるようにしていきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	1		・毎回色々な活動で様々なパターンを経験できてよいと思います ・様々な活動内容で工夫されていると感じる。	・活動内容に関して子どもの意見を聞き、職員間で検討を行い、固定化されないようにしていきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1	5	・他放課後デイとの交流はあるが、地域の他の子どもとの交流は頼もしく分かっていない。	・地域の公園でのこどもとのかかわりがあるが、児童クラブや児童館との交流は難しいため今後も地域の公園でのこどもとのかかわりを行います
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1	1		・利用する際に説明会があり、丁寧な説明がありました	・利用開始時に保護者へ説明を行っていますが、今後も必要に応じて丁寧な説明を行います
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	1			・計画説明時に書面を見ながら一つ一つねらいや意図を保護者への説明を行います
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	1			・保護者相互に交流する機会を設けたり、親の会との協力のもと、年に1回の学習会を行います
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	1	1		・毎回活動について活動の内容や様子を丁寧に教えてもらっています	・活動終了、保護者へ活動内容や子どもの様子を伝える機会を確保します
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1			・個別面談の機会だけでなく、必要に応じて保護者からの相談を受けて対応します
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	1		・いつも保護者の気持ちや状況に寄り添って関わっています	・保護者のねがいや子どもの思いを聞き取り、活動へ取り入れ寄り添えるような支援を行います
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	3		3	・定期的に保護者同士の会があり、交流があります。兄弟児についても交流や語り合う場があり、助かっています ・保護者の交流の場は十分あるが母が参加しがちなので父も参加できて、思いや子育ての悩みを言い合える場面があるといいです	・今までコロナで中止していた毎月の親の会での集まりの再開を検討し、保護者同士の交流が行える機会を設けていきます きょうだいや保護者同士の交流の場として親子での活動の機会を設けていきます
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	1	・相談すると迅速に対応してくれて助言をもらったり、状況によっては会議等を設けてもらうなど対応してくださいます。	・子どもや家族からの相談などいつでも受けることを日ごろから伝え、速やかに対応できるようにします	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場合によっては、メールや電話などで伝えてください ・こまめに連絡をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談以外にも日ごろから保護者との情報伝達のために活動後に保護者様と話す時間を設けたり、必要に応じて電話での対応をします
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・文書では定期的に活動概要や行事予定を伝え、さらには自己評価の結果をホームページ上に掲載していることの周知を徹底します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員には契約時に秘密保持契約を結び、さらには事業所で情報の機密性について共有し漏洩することがないように配慮します
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・確認したことがないからわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの作成は行い、職員間での訓練も行い、今後は必要に応じて保護者への周知説明を行いたいです
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練されている。 ・地震の訓練ではアラーム音から実施していただいたことで実際の地震でも思ったよりバニクにならずに助かりました。ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生に備え年に2回訓練を行っています。今後はもう少し定期的に行い、子どもや保護者にも知ってもらえる機会を作ります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画の作成を行い職員間での共有を行い、安全に注意して注意して支援していきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・事故等が発生した際には、必要に応じて保護者への説明を行っています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・友達もでき、先生を信頼して、楽しみに通っています 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での状況を聞き取り把握したり、子どもの気持ちを受け止めて活動に生かしていき安心して登園できるようにしたいです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に期待を持って登園している。 ・友達と〜したいという気持ちが大きく膨らんでいきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやりたい気持ちを大事にし、活動内容の検討を行い、期待して登園できるようにしたいです
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容が楽しく、色んな経験をさせてもらえるので満足しています ・子どもの気持ちを受け止めてくれ、どうしたら上手くいくのか一緒に考えてくれて感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保護者の意見や気持ちを受け止めながら保護者が方々が納得いくような実践の質の向上を図りたいです。

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年2月28日

事業所名		学童支援 ゆめのはな					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		部屋をうまく仕切りながら着替えや遊びなど活動空間を作っている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		部門内で協力連携しながら子どもの安心安全確保に努めている	職員不足の解消	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		建物が古いため完全バリアフリーは難しいが、子ども達への声掛けなどで怪我が起きないようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の活動後の掃除は欠かさず行い、清潔な空間を保つようしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室や着替えの部屋など必要に応じて活用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月の職員会議で全職員参加のもと行い、毎日の打ち合わせなどの時間の確保を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者への自己評価を行い、職員間で共有している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員からの意見を職朝や情報共有ノートを活用して把握し、出た意見を事業所の運営に反映させている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在は行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内研修や、他事業所との合同研修を計画的に行っている。また、法人内研修や外部研修などへの参加を行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	毎日の実践に対してプログラムを作成し、その日の実践のねらいや意図について情報共有している	公表に関しては今月末から行う	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		作成の前に保護者と面談を行い、子どもの気持ちも含めて計画に反映させ、個別支援計画の作成及び検討を行っている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成の際は、職員間で子どものことを情報交換したり、意見交換したりしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成の段階から職員間で子どもの状態や課題も含め共有し、計画について共有できるようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	適応行動の状況を評価基準としていないが、アセスメントツールを用いて発達段階を知る機会として使用している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		子どもや保護者のニーズに応じた支援内容になるように、職員間で検討を行い、計画を作成し、具体的な内容で分かりやすくなるように作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>	ねらいを元に活動プログラムの内容の検討を職員間で行い、その日の活動内容を決めて作成している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子どもからの意見を取り入れたり、毎月の活動内容に偏りがないように職員間で検討を行っている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	小学生が多く集団での活動が多いが、子どもの状況に応じて個別活動の場面も作れるように支援をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	その日の活動のねらいや支援の内容について打ち合わせをする時間を確保し、職員間での連携を図っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その都度振り返るようにしているが、忙しい時期は次の日などに行うようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日の記録を行い、子どもの課題から支援の方法の検討などをおこなっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年ごとのモニタリングを行い、保護者や子どもの願いを基に見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で子どもが自己選択できる内容にし、話し合いなどの機会を設けることで自己決定する場として支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	関係機関との連携会議への参加を行い、子どもの情報理解に努めている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	協力医療機関を同法人内に置き、学校とも連携会議を通じて支援を行う関係作りを構築している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者から年間計画や下校時刻など共有してもらい、学校へも急な変更などの際には連絡をもらえるような体制を整えている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	新規利用時に児童発達支援事業所での様子や課題などの情報把握を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	今はまだ卒業児が障害福祉サービス事業所へ繋がる例はないが、中学校などでの子どもの様子の聞き取りなどは保護者を通じて行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		特定の児童クラブなどのかかわりは少ないが、地域の公園でのかかわりの機会を大事にしている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人を代表して特定の職員が参加しているため、事業所内では今年度の参加はなかった
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日の活動の様子や発達の課題など保護者へ話をする機会を確保している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	親子で参加する機会を企画し、園内での子どもの状況やそれに対する支援の方法などを情報提供している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	新規利用時に運営規定や支援内容などオリエンテーションを通して丁寧な説明を心がけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談の際に保護者のニーズや日ごろ子どもからのニーズを聞き取ったうえで支援の方向を決めている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画説明時に支援計画を提示し、わかりやすい言葉での説明を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	日ごろの保護者からの相談や個別支援面談時の相談を基に支援に生かすようにしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		親子でできる活動を保護者会とともに企画し、保護者同士での交流や兄弟同士での交流の機会を設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		子どもや保護者からの苦情に関しては他管理者とも共有し、職員間でも迅速に対応できるようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月の事業所からの活動案内や必要に応じてお知らせを配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		職員間で個人情報の取扱いについて気密性について共有し、漏洩しないように配慮している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		保護者や子どもの状況に応じて個別で話をする機会を設けたり書面での伝達をしたりしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		法人内の行事に関しては地域の住民への参加の呼びかけを行い参加する機会を設けている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルに関して職員への周知や研修を行っている	家族へのマニュアルの周知が徹底されていない部分もあったため、全保護者への周知が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		最低でも年に1回の研修や訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		新規利用時に保護者からの聞き取りを行い、その情報を職員間で共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		アレルギーの子どもが現在いないが、有無に関する確認は新規利用時に行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的な訓練や職員間での共有を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		非常時の対応や怪我等について必要に応じて行っていた	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットの内容を職員間で共有するだけでなく、再発防止に向けた対応を職員間で検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		定期的な虐待防止の研修を行い、些細なことも虐待に繋がることを職員間で共有している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束が何に当たるのか職員間で意見交換を行い、原則として行わないで済んでいる		